

# 1 教育計画

## (1) 校訓

### 責任（個人的資質の養成）

自己の立場に自覚と責任をもちうる能力を養うことに努め、個性の確立と社会人として生きるための気迫と実行力を培う。

### 協調（社会的資質の尊重）

信頼と敬愛を基とし、国際社会に生きる自覚のもとに互いの立場と責任を考えながら、情操豊かな人間性を尊びあう協調親和の精神を培う。

### 創造（生産的資質の啓発）

教養を高め、公正で科学的な判断力を培い、将来にわたって技術革新に対応できる創造的思考力を培う。

## (2) 教育の方針

本校の校訓である「責任」「協調」「創造」を基本とした教育目標とともに、技術革新や産業構造の変化、生徒数の急減、県民のニーズの変化に対応した工業教育を意欲的に推進し、地域社会の要請に応えられる心身ともに健全な産業人の育成に努めるため、以下の工業教育を推進する。

- 工業の基礎基本を学ぶ過程において、創造性を育みしっかりとした職業観と勤労観を持つことができる教育を推進する。
- 働く意欲を身につけ、自立できる人間の育成を目指す。
- キャリア教育を通して、将来に対する自覚と学ぶ意欲を高める取組を推進する。

## (3) 平成28年度の「学校教育目標」と「努力目標」

### ○学校教育目標

**力と勢い、そして、夢を追い続ける岩工づくり～「今、ここ」を大切に～**

- ・ **力** ⇒ 工業高校としての専門性を重視した、**基礎的・基本的な学力向上**と確かな**技術力の習得**
- ・ **勢い**⇒ **ものづくりや特別活動への積極的な取組**を通じた、主体的な**将来設計能力**と**豊かな人間性**の育成
- ・ **夢を追い続ける** ⇒ 自己の夢や目標をしっかりと定め、これからの**時代に対応できる基礎的な力を備え**、今後の自己実現を図るための**積極的なチャレンジを継続**

### ○努力目標

**「将来のスペシャリスト」「地域産業を担う人材」「人間性豊かな職業人」の育成を目的として**

- 基礎学力の向上に向けた学習習慣の定着と学習指導体制の整備（生きる力の基本）
- 毎時の授業のはじめと最後の確認・振り返りの実施（授業評価の活用）
- 教員の授業力向上への取組（学び続ける教員）
- ものづくりへの積極的・主体的な取組と資格取得指導体制の強化
- 特別活動の活性化、ボランティア活動及び地域行事への参加等を通じた地域社会との連携推進（保護者、地域あつての学校）
- 全員参加のインターシップ実施による職業観・就業意識の早期醸成（地域の担い手としての自覚と周囲の認識）

## 生徒努力目標

- 「ビジョン」を持つ  
将来の自己の在り方・生き方としての目標を明確にもとう
- 「モチベーション」をあげる  
授業や資格取得試験への積極的取組を通して、「学ぶこと」に真剣に向き合おう
- 「コミュニケーション能力」を高める  
社会の中で自立して生きていくことのできる、人間としての成長を図ろう

## 生徒チャレンジ目標

**考査：諦めるなやればできる！過去を越える自分へ**  
**資格：資格たくさん→明るい未来**

平成 28 年度は、機械科・電気科・都市工学科・システム化学科の計 140 名の新入生を迎え、生徒総数 420 名の生徒が、「責任・協調・創造」の校訓のもと生徒と教職員が一体となって各々の夢の実現に向けて意欲的に取り組んでいく。

本年度も基礎的・基本的な学力向上に向けて取り組み、SHR 前一斉朝学テストと基礎学力テストを実施し、学力向上の一助と位置付けている。学年一斉基礎学力テストは実施体制も整い、定着してきており、不合格者に対する補習と合格するまでの再テストの実施により、生徒の学習意識と基礎学力の向上が期待できる。

キャリア教育の充実による職業観・勤労観の醸成のために、学習に対する積極的な取組のための推進を図っており、一年次よりキャリア教育カリキュラムをしっかりと構築し、体系的な育成プログラムによる指導を本年度も強力に推し進めていく。各学年における進路ガイダンスをはじめ、一年次の全員参加によるインターンシップや企業見学、二年次の進路講話や進路模試、就職サポーターによる進路面接等の充実を図り、三年次での就職試験直前の準備指導やマナー教育を行う等学年に応じた育成プログラムの充実とその成果に向けて取り組んでいく。また、資格所得指導の推進も重点を置き、計画に従った生徒の募集・申請及び受験指導を教員が担当する資格検定係を中心に科を越えて行っていく。「ものづくり」に対する取り組みと共に、これからの本校の大きな方針の一つとして生徒の意識の向上と技術力・技能力のレベルアップに力を注ぎ、さらにそれが学力向上効果となることを期待している。

部活動においてはどの部も年々力をつけてきており、昨年度は、全国大会において、ハンドボール部優勝、フェンシング部優勝、弓道部入賞等、全国大会上位入賞校として活躍する中、陸上競技部からもインターハイ個人種目へ出場するなど、多くの運動部が県内上位のレベルになってきている。文化部においても科学研修部が 16 年連続全国大会出場を果たし、優勝まであと一歩のところまで肉薄するなど、全国レベルを維持している。

また、吹奏楽部は小編成部門で中国大会金賞の受賞をはじめ、本校の運動会、岩工祭及び地域行事等学校の内外で活躍している。このように、運動部・文化部を問わず意欲的に活動し、各自が描いている夢の実現に向けて日々取り組んでいる。

本県教育目標である「未来を拓く たくましい『やまぐちっ子』の育成」において、めざす「やまぐちっ子」の「すがた」として、

- 高い志をもち、未来に向かって挑戦し続ける人
- 知・徳・体の調和がとれた生きる力を身に付け、他者とのつながりを大切にしながら力強く生きていく人
- 郷土に誇りと愛着をもち、グローバルな視点で社会に参画する人

を掲げており、その実現に向けて、「3つの力」と「3つの心」を育むために、本校の教育目標である「力と勢い、そして、夢を追い続ける岩工づくり～「今ここ」を大切に～」を実践するとともに、さらに学校の組織的な取組や家庭地域との連携による取組の充実を図るための学校運営を進めていくこととする。